

第1778回報告 高尾山（日影～小仏城山～一丁平）

実施日 4月8日（木）

晴れ

係 谷 真理子 記録 古谷喜代子

報告

青空の下、バス停先の桂人工林横を沢沿いに進み中継支6地点で沢渡。前日の雨故か水量やや多め。春の日差しの中、人気のない静かな山道のあちこちで桜の花が迎えてくれた。目立たず見過ごしそうな草花を花博士に教わりながら、精緻な造形と可憐な姿に感動したりカメラに収めたり。昼は山頂茶屋傍の芝生にて満開の花々を眺めながらのんびりおしゃべりも楽しむ。下りの日影沢林道には花時の二輪草が群生し、高尾スミレや仙洞草、延齡草、猫の目草、加茂葵、蝮草、夏燈台、百合山葵、瑠璃草、鹿子草、小哨唎草、深山黄華鬘などにも出会えて花の宝庫コース満喫の1日となった。高尾駅にて解散。

コースタイム

高尾駅 9:17＝バス＝日影バス停 9:40---尾根上 10:20---P11:20--小仏城山（昼食）13:00---一丁平 13:25---高尾森林センター 15:20---日影バス停 15:40
＝バス＝高尾駅 16:00



ニンソウ



プラム



ヨゴレネコノメソウ



タカオスミレ

参加者 計6名

第1779回報告

(本部集中) 箱根「足柄峠」

実施日 4月11日(日)

曇り

係・記録 金本 勲

報告 足柄峠の受付が13時迄で締切ですが、小田原駅から仙石行きバスの交通渋滞を心配したが予定より早く到着したので、ゆっくりペースで登山を楽しみながら金時山頂上にAm10:30に到着した。金時山山頂では大勢の登山者で賑やかで、富士山も見ることが出来た、山頂でおやつを食べ、全員写真を撮り、金時娘に挨拶して足柄峠に向かった。イベント会場に着いた時はすでに沢山の人々が食事をしながら賑わっていた、しかし参加人数ではトップが30人、2番28人、横浜支部27人は3番目で坂本竜馬のお酒を3等賞として頂く。横浜支部恒例のパフォーマンスも服部さんアイディアのゴム風船を全員で鳴らして、全体でトップの出来栄でした。イベントでは宿泊割引券をゲットしたり、クイズで登山用品をゲットした人もいて、楽しい新ハイキングクラブの祭りでした。

コース 金時山登山口 8:45---9:20 矢倉沢峠 9:30---10:30 金時山 10:50---11:20

タイム 夕日の滝分岐 11:25---12:15 足柄峠(昼食)---イベント(13:30~15:00)
15:50 地蔵堂 16:25=バス=16:50 関本バス停/大雄山==小田原駅



横浜支部のイベント

参加者 計 25 名

第 1780 回報告

竜ヶ岳

実施日 4月15日(木)～4月16日(金) 係・斉藤 郁夫 記録・湯浅 克枝

報 告 15日 (雨後みぞれ) 竜ヶ岳登山口から、右手眼下に本栖湖を見ながら登っていくと「あられ」がちらほら、そのうち「みぞれ」が強く降ってきた。コース途中の屋根のある東屋で早めの昼食をとる。山頂に着くと霧氷、風は少なく静寂があり、下山時に樹林ごしに見えた本栖湖は感動ものでした。コースは全般に良く手入れされており、急登もジグザグに改修され歩きやすいコースでした。

16日(雪後曇り) 朝起きて民宿の窓を開けると、なんと雪景色(銀世界)でした。今日は山行をあきらめドライブに変更。河口湖の「富士ビューホテル」レストランで、庭の古木の「しだれ桜」の花に積もった雪の珍景と湖面を眺めながら、美味しいコーヒーを頂き優雅な一時を過ごしました。その後真っ白な毛無山を眺めながら長者ヶ岳、天子ヶ岳登山口の田貫湖に向かう。湖畔周辺桜づくし、見応えのある桜を鑑賞しながら歩いて一周、クレソン、蓬、つくし摘み等を楽しみ御殿場に戻りました。

コース 4/15(木) 本栖湖登山口 9:30---東屋 10:57---竜ヶ岳山頂 12:10---本栖湖畔道
タイム 13:30---登山口 15:10

参加者 7名

第 1782 回報告

(本部合同) 城山カタクリの里

実施日 4月18日(日) 晴 係 谷真理子 記録 飯島和子

報告 異常気象続きの中、久し振りの快晴で参加者全員ウキウキしている。
かたくりの里の花の数の多さにびっくり。高山植物のシラネアオイ、
イワカガミ、イワウチワ等にも出会え、のんびり里山歩きも楽しめた一日
でした。31名の団体には大変良い山行だと思いました。

コース 橋本駅＝バス＝城山総合事務所 9:45――城山カタクリの里 10:25～11:15
タイム ---コミュニティ広場（昼食 12:10～13:00）---峰の薬師 14:00---
クラブ前バス停 15:20＝バス＝橋本駅

参加者 16名

第1783回報告

滝子山 (1590m)

実施日 4月24日（土） 曇り 係・記録 和智邦久

報告 笹子駅から、桜森林公園の先から寂しい尾根に入る。急登の尾根を皆な快調
に登る。尾根の上部は岩場の連続で岩が濡れていたのが慎重に登る。
山らしい山といった登りだと思う。登り切った時周りの木々が霧氷の花を
咲かせていた。頂上より富士山の眺めはあいにく雲に隠れて見えなかったが、
視界は良好。時折雪がちらつき下界は晴れ間が見える。下りは初狩駅へ充実
した登山だったと思います。

コースタイム

笹子駅 8:35――桜森林公園 9:05――12:21 滝子山 13:00――13:37 桧平 13:42
―― 16:14 初狩駅

参加者 7名

第1784回報告

天地山

実施日 4月26日（月） 係・記録 春日井 孝行

報告 当初4/26（月）～27（火）で、「御前山～海沢探勝路」を計画していたが、
天候不良が予想されたので、直前に日帰り「天地山」に変更。
新ハイで言うところの「バリエーションコース」で、今回参加の4名は幸い
そういう山が好きな連中で、地図と山勘で楽しんだ次第である。
天地山山頂に単独行の女性が居てびっくり。（以前、新ハイのK支部に入って
いたとか。⇒我々と同類が居るんですね、やはり新ハイには）
イワウチワ群落、ニリンソウ群落、桜、ミツバツツジ、等々、花多し。

コースタイム

奥多摩駅 9:40――海沢／車止め 10:30――天地山 12:15／13:00 鋸尾根 13:40

---奥多摩駅 16:10 (休憩含めて 6 時間 30 分)

参加者 4 名

第 1787 回報告

竜王峡・栃木・月山

実施日 5月6日(木)~5月8日(土)

係・記録 竹尾亮三

報告

[6日] 快晴

予定時刻にホテルに到着、軽装で八重桜が満開の龍王峡駅から川岸まで滝と新緑を見ながら下る。登り返して虹見橋から深い溪谷の美しさを見下ろし、溪谷上の右岸を上流に向かって登ってゆく。鮮やかな朱色のヤマツツジがいたる所で若緑をバックに美しい。

咲き残ったミズバショウの湿地を過ぎると最も眺めの良いむささび橋に到着。ここからは左岸を登る。溪谷の姿も変化し、溪谷の巨岩や大穴など4か所のビューポイントを過ぎ、急登を登り終えると白岩バス停に到着、ホテルへ。かけ流しの温泉にゆっくりつかり夜の部を楽しむ。

[7日] 小雨

taxi を降り地元の登山者にアカヤシオは見頃との言葉に元気づけられ出発。午後からの雨の予報が外れ、途中で雨具を着て登山口に着く。周回コースが短く、標高差も210mなので決行する。直ぐに霧の中にアカヤシオが山道沿いに次々に現れてくる。アカヤシオの木が太い、長いなど大きい。山頂でもアカヤシオが迎えてくれる。下りもアカヤシオが多い。アカヤシオと松との景色も素晴らしい。山肌に桜の花と間違えそうなアカヤシオの列を見ながらダム広場の東屋に着く。ここでもアカヤシオと桜の花が迎えてくれる。昼食をゆっくりとり、迎えの taxi でホテルに向かう。

[8日] 快晴

朝食前に、後に、鬼怒楯岩大吊橋までの散策をする方、温泉を楽しむ方など、各自気ままに過ごし、ホテルをチェックアウトし湯けむり会館へ。地元の山ウド、長いもなどを買う人、散策に出かける人、無料人情時代劇を楽しむ人など、思い思いに過ごし、迎えのバスを待つ。

溪谷ハイキング、小雨の中の見頃のアカヤシオ登山、散策、温泉、お酒、カラオケ、観劇など格安で楽しめた3日間でした。

コースタイム

[6日] 横浜駅西口 8:10 バス=ホテルニューおおるり 11:30~12:40---鬼怒川温泉駅 13:03 電車==龍王峡 13:16---虹見橋 13:45---むささび橋 14:25~14:40---白岩バス停 15:10~17==鬼怒川温泉駅 15:25=ホテル

[7日] 鬼怒川温泉 8:30 電車==川治温泉 8:45~50taxi==栗山ダム広場 9:20~30---登山口(バーベキュー広場) 10:05---尾根分岐 10:50---月山 11:00~11:10---尾根分岐---ダムサイト管理等 11:50---ダム広場 12:05~13:00taxi==ホテル 13:50

[8日] ホテル 9:30---ゆけむり会館 9:35~11:20 バス==横浜 15:25

参加者 15 名

第 1788 回報告

西赤石山

実施日 5月7日(金)~5月9日(日)

係・石部 正子 記録・柿沢 泰子

報告

8日 快晴 夜行バスは時間通り新居浜につく。タクシーにて東平へ、ゆっく

り朝食を済ませ、まずは銅山峰乗越を目指す。コンロンソウに見送られ、うららかな春の日差しの中、稜線に出ると西赤石山が眼前に表れ、昨年来た時は一面ピンクに染まっていた斜面が緑一色、中腹から下はピンクのかたまりが良く見える。明日の下山が楽しみだ。

「夜行疲れもあるので東赤石山は明日に」とリーダーの判断で石室越から赤石山荘へ直行。

9日 快晴 おかめ岩迄直登、かなりきつい。カンラン岩の北アルプス並みの岩稜帯を慎重に歩き、赤石山荘分岐でザックをデポし、東赤石山頂展望台へ行く。

別子ダムを眼下に、遠くは石鎚山まで良く見える。なごりは尽きないが先を急ぐ。アケボノツツジ、トサミツバツツジ、イシヅチザクラ等、競って咲きほこり瀬場谷には山シャクが群生し、八間滝を過ぎるとまもなく筏津分岐を左に折れ瀬場の登山口に到着。関西一のスケールを誇る赤石山系のゴールデーンコースを歩けましたこと、リーダーはじめ皆様に感謝です。

コースタイム

7日 品川バスターミナル 19:50 発

8日 新居浜バス停 6:25=夕シ=7:05 東平 8:58---10:15 銅山峰乗越 10:25---

12:15

西赤岩山 13:00---13:45 物住頭 13:50---14:45 石室越---15:08 赤石山荘

9日 山荘 5:58---6:20 おかめ岩---赤石山荘分岐 7:37---東赤石山 7:40---展望

台

7:45---分岐 8:10---瀬場筏津分岐 11:10---11:30 瀬場=夕シ=12:31 伊与三

島

12:56=14:09 岡山 14:26=新横浜 18:21

参加者 7名

第1790回報告

青 笹 山

実施日 5月15日(土)曇り

係・記録 竹尾亮三

報 告

静岡よりワゴン車に7人乗り出発。快調に走り葵峠に到着。茶畑を見下ろし、ヤマブキが咲く林道を登り正木峠に、ここから落葉の山道に入り稜線に上がると地蔵峠である。お地蔵さんが屋根付きで鎮座している。オオカメノキの白い花が咲いている。快適な尾根道にはドウダンツツジの蕾のみで、期待のツツジは咲いていない。寒さで遅れている事が感じられる。青笹山からの展望は全くない。ゆっくり休憩し細嶋峠まで戻る。ここからは杉林の急坂である。ガスも時折かかり、

赤テープを探しながら慎重に下る。栽培しているワサビ棚を楽しみながら車に戻る。

復路も景色を楽しみながら快調に走る。駅前で乾杯。

コースタイム

トヨタレンタカー—静岡 9:30=葵峠 10:35~45---正木峠 11:30~40---地藏峠
12:15~13:05---仏谷山 13:20---細島峠 13:45---青笹山 14:35~15:05---
細島峠 15:45~50---葵高原 17:10~20=トヨタレンタカー—静岡 18:25

参加者 7名

第1791回報告

雁ヶ腹摺山～檜ノ木尾根縦走

実施日 5月17日(月) 快晴

係・記録 和智邦久

報告 大月駅からタクシーで大峠まで。
大峠より途中富士山の雄姿、右に雪がまだかぶっている南アルプスが、
雁ヶ腹摺山頂上からきれいな富士山。檜ノ木尾根は新緑（特にカラマツの
新芽がかわいらしい）の木々の中をすれ違う登山者なし。秩父の峰々、
反対側は道志の山、遠く丹沢の山並みが素晴らしい景色の縦走路を、
途中歩きながら歌まで飛び出す快適な山行でした。

コース タイム

大月駅 8:35=タクシー=大峠 9:17---10:09 雁ヶ腹摺山 10:18---10:56 大樺の頭
---11:35 鉄塔 12:18---14:05 泣の頭坂---14:21 大峰 14:32---15:32 水無山
---16:35 上和田=タクシー=大月駅

参加者 8名

第1793回報告

第61回全国植樹祭

実施日 5月23日(日) 雨

係・記録 金本 勲

報告 横浜より送迎バスで秦野会場に向う、入場に際しては身分証明書等の厳
重チェックを受ける。秦野式典会場に到着後、南足柄会場で行われた天皇
陛下（ケヤキ、無花粉スギ、クヌギ）、皇后陛下（ヤマザクラ、イロハモ
ミジ、シラカシ）のお手植えの実況中継を大型テレビで拝見した後、秦野
式典会場に両陛下をお迎えして式典が始まる、式典では表彰式の後両陛下
のお手播きを見せていただき、私達も森林づくりに協力したいと思いました。
降り続く雨で足許が滑りやすくなっている為と思われましたが、私達の植樹
は中止となりました。

行事時間 秦野会場 10:10---天皇皇后両陛下お手植えテレビ中継 10:45~11:00
---両陛下ご出席記念式典 12:10~12:40---送迎車で会場出発 13:35

参加者 16名

実施日 5月28日(金)~5月29日(土)

係 芹沢隆久 記録 和智邦久

報告 5月28日(金) 晴れ 贄川宿(ニガワ) — 奈良井宿 (7.3km)

贄川駅より、半年ぶりに中山道の街道歩きをスタートする。

駅のすぐ先の陸橋を渡り贄川番所へ。贄川宿は大きな立派な家が今も残っている。

途中から国道19号に出る。諏訪坂の途中から左の旧中山道に入る。

押込一里塚跡の少し手前で昼食。一里塚の先からまた国道に出るがすぐに旧道に入り新緑の青々した木々の景色を眺めながら歩く。諏訪神社(天正10年(1582)鳥居峠で、木曾義昌に敗れた武田勝頼が火を掛ける。朱塗りの本殿は享保17年(1732)の再建)には御柱が4本立っていた。

本日のゴール奈良井宿(「奈良井千軒」といわれ木曾路で最も繁栄し、「木曾の奈良井か藪原か、麦もとらずに飯をたく」といわれた)に入る。途中「木曾の大橋」を見て奈良井宿の家並みを見ながら、ならい荘に到着。

旧中山道は国道から離れていて、新緑の木々を見ながらのんびりとした街道歩きが楽しめました。

5月29日(土) 曇り

奈良井宿—宮ノ越宿 (13km)

奈良井宿—藪原宿 1里13町 (5.5km)

藪原宿 — 宮ノ越宿 1里33町 (7.5km)

民宿より鳥居峠の入り口はすぐあった。石畳の急な登り、すぐに奈良井宿が見える展望台へ。木々の間から奈良井宿がわずかに見える。登りきると峠に「峰の茶屋跡」あり、左の山道の旧中山道に入る。林道に出て右に下り鳥居峠(木曾路最大の難所と謂われた)着いた。

御嶽山遥拝所(御嶽山をここから拝んだ)、義仲硯水(平家追討の願書をしたため)、ここから下りになり一路藪原宿へ。途中藪原神社による。藪原宿を通り藪原駅を過ぎると国道を少し歩く。吉田橋を渡りすぐ左に入り山吹トンネルの手前を右に入りトンネルを迂回し旧道に入る。ここで木曾川の急な流れを見ながら昼食をとる。

巴淵(巴御前はこの淵に住む竜神の化身との伝説がある巴は義仲の養父兼遠の娘として生まれ生涯義仲を守り続けた)を過ぎ、義仲館を見学し宮ノ越宿に入り本日のゴール原野駅に到着した。

今回は国道から離れていて、木々の新緑を見ながら楽しい街道歩きだった。

(日本橋から宮ノ越までの距離 263.7km)

[詳細はこちら](#)

コースタイム

5/28 贄川駅 11:10—贄川番所—11:30 深川住宅—押込一里塚跡—14:46

奈良井宿入口—木曾の大橋—16:00 ならい荘

5/29 民宿 7:57—8:20 中の茶屋跡—9:14 鳥居峠—御嶽山遥拝所—

義仲硯水---藪原神社---10:30 藪原宿---義仲館---宮ノ越宿---14:00
原野駅

参加者 15名

第1799回報告

荒山 ～ 鍋割山

実施日 6月5日(土) 晴れ

係・記録 竹尾亮三

報告 道標から山道を登り荒山高原へ。たくさんのヤマツツジとズミの花が迎えてくれる。ここから荒山に向う山道沿いはヤマツツジ、レンゲツツジ、トウゴクミツバツツジが続く。途中の平坦な巨大岩の上で昼食。向いの稜線下のツツジ群生が見事。荒山から下山周回路もズミの花、ツツジを楽しみながら荒山高原に戻る。ここから鍋割山へ向かう。相変らずツツジとズミの花が続く。淡紅色のズミの花にも会い、ズミ満開の鍋割山頂へ。往路に戻るが、荒山や残雪の谷川岳などツツジの花越しに見る山々、高原のツツジを見下ろす景色は素晴らしい。予想以上の素晴らしいツツジ、ズミを全員が初コースで楽しんだ山行でした。

コースタイム 前橋駅 9:25=タクシー=10:05 荒山高原登山口 10:15---10:55 荒山高原 11:05---12:40 荒山 13:00---14:05 荒山高原 14:25---15:00 鍋割山 15:20---16:05 荒山高原---16:55 箕輪バス停 17:41=バス=18:40 前橋駅

参加者 8名

第1801回報告

小田原ウォーキング

実施日 6月18日(木) 晴れ

係 谷 真理子 記録 坂間昌子

報告 梅雨に入り予定日を一日繰り上げ晴れ間を利用した山行となった。青空のもと箱根湯本を出発、咲き始めた紫陽花を見ながら阿弥陀寺で参拝した。塔ノ峰への急登は、箱根古期外輪山にみられる溶岩が露出する箇所もあったが、思っていたより歩きやすい。涼風に誘われながら塔ノ峰山頂に到着。展望はないが適当な広場で食料補給をして、明星ヶ岳分岐点で一路水之尾へ下る。急降下はなく、杉・檜等の整備された山道を歩き、途中で「キクラゲ」を発見！長身の支部長に採って頂き、思わぬ収穫になった。林道を通って、すぐやぶこぎがあったが無事通過。リーダーが予定していた小高い広場で昼食。ゆるやかな林道を歩き、沢の水音に誘われていると桑の実に出会い子供にかえって頬張る。上水之尾溜池を経てみかん畑に下り小田原方面の景色を一望、予定通り風祭に到着した。

コースタイム

箱根湯本 9:50---阿弥陀寺 10:20---塔ノ峰 11:35---水之尾 13:00---上水之尾溜池 14:30---風祭 15:00

参加者 5名

第1803回報告

街道を歩く (中山道14)

実施日 6月25日(金)~6月26日(土)

係 芹沢隆久 記録 和智邦久

報告 6月25日(金) 晴れ 宮ノ越宿——上松宿 (16.4km)

原野駅(無人駅で駅前は何にもない田舎の駅)より、スタートする。

少し歩くとやっと「中山道の間地点」の碑が、まだ後半分あると思うと……。京へ、江戸へ六十七里三十八丁。間地点の碑の後方に、木曾駒ヶ岳、中央アルプスの展望が。手習天神(木曾義仲の学問のため京都、北野天満宮を勧請したもの)この中山道は国道と離れているために静かな街道歩きが楽しめる。

福島宿に入り福島関所跡は四大関所(箱根、新居、碓氷、福島)、興禅寺(木曾氏、山村氏の菩提寺、義仲墓)、木曾福島駅前を通過する。ここらあたりから左に木曾川の流れを見ながら歩く。梅雨時のためか水量が多く流れが速い。御嶽遥拝所を過ぎると右手に木曾御岳山が見え重くなってきた足取りを癒してくれる眺めだ。国道に出ると大型のトラックがうなりをあげて横を通過していく。上松宿に入り駒ヶ岳登山道入口、材木役所跡(尾張藩直属の陣屋、寛文5年(1665)の設置、木曾の山林を独占した材木奉行所)を過ぎ、

今日のゴール寝覚の床近くのホテルに到着。

(日本橋から上松宿までの距離 280.1 km)

6月26日(土) 小雨 上松宿——野尻宿 (19.9km)

出発前に寝覚の床を見学。河原まで急な道を下り寝覚の床の岩場は、木曾川の浸食によって白亜紀花崗岩の壁が両岸に連なっている。小雨の中を出発。朝からの雨は今回が初めてであるが、小雨の中山道歩きもまたいいものだとおもい歩き始める。荻原の一里塚跡、倉本駅、倉本の一里塚、須原の一里塚を、右には木曾川の流れを見ながら通過し須原駅で昼食にする。

崖の中腹に建立されている岩出観音堂(京の清水寺と同じ崖屋造り)を下から眺める。伊奈川橋を渡り少し歩くと、木曾川と別れ山道に入り天長院を過ぎ大桑駅前、野尻宿に入る。

少し歩くと野尻駅に到着、今回はここまで。

(日本橋から野尻宿までの距離 300km)

コースタイム

6/25 原野駅 11:36——中山道間地点 11:48——福島関所跡 13:22——興禅寺 13:55 山村代官屋敷跡
——木曾福島駅——14:43 塩淵の一里塚跡——木曾沓掛の一里塚跡——16:37 高札場——16:45 上松宿——材木屋役所跡——17:18 ホテルねざめ
6/26 ホテル 7:57——荻原の一里塚跡——倉本駅——9:55 倉本の庚申塔——11:15 須原駅 11:40
——須原宿——岩出観音堂——大桑駅——野尻宿——14:00 野尻駅 15:09

参加者 6名

第1804回報告 バーベキュー ソウメン山行

実施日 7月4日(日)曇

係・記録 小笠原 利満

報告

梅雨の晴れ間を期待しつつ寄バーベキューセンターの川原で10時頃より開始。久しぶりに炭を起し食材を用意し始めてもらいました。多数の参加を得て飲んで食べて語り、楽しい半日を過ごしました。何かと至らぬ事もありましたが、皆様の協力を得て無事に終わり、有難うございました。

参加者 17名

第1805回報告 南の耳～北の耳～ゼブラ山

実施日 7月10日(土) 晴

係・記録 竹尾亮三

報告

好天に恵まれ、陽射を受けて山道に入る。ニッコウキスゲ、ハクサンフウロが迎えてくれる。

蝶々深山を含めた山彦尾根に向う草原の景色が素晴らしい。稜線に着くと南の耳と北の耳の穏かな姿、蓼科山の雄大な景色が続く。ウスユキソウが山道沿いに咲き、テガタチドリの咲く所で昼食をとり南の耳に到着。蓼科山、車山北の耳、見下ろす景色にも感激。急坂を慎重に下り、北の耳を経てウツボグサが現れるとゼブラ山である。八島ヶ原湿原の全貌を見下ろす。湿原添いでキバナノヤマオダマキに出会い、最後のピークに到着。歩いた周回コースを眺め、taxiの待つ車山肩へ。快適で素晴らしい草原コースに乾杯

コースタイム

上諏訪駅 9:50＝バス＝10:35 車山肩 10:50---車山乗越 11:15---(昼食) ---12:55 南の耳 13:10
---13:25 北の耳 13:30---14:00 ゼブラ山 14:10---奥霧小屋 14:45---15:20 沢渡 15:35---
---16:10 車山肩 16:40＝ taxi＝上諏訪駅 17:10

参加者 18名

第1806回報告 南真鶴の貴船まつり

実施日 7月27日(火) 晴

係 祖父川精治 記録 齋藤郁夫

報告

猛暑続きの中を物好きな4人が繰り出した。何度もこの祭りを体験されている係りの案内で漁港着。華やかに飾り立てられた2艘のお囃子方が乗る船は海面に、本日の主役の御座船が東西に相対して進水待ちで待機中。やがて侍に扮した人が乗り込むと船を海面に押し出す。2艘の船が中央の台船の前に集まり、貴船神社の神職が台船に乗船、同時にお囃子が流れ花火も打ち上がる。船と台船の5艘ほどが少し離れた貴船神社の近くの岸壁に移動。

この後午後からは少年達の奉納の踊り、急な石段を一気に降りるお神輿を見学。この間特に案内の放送もなく実に淡々と執り行われ、まさに地元の方達の神事でイベント・ショー化されていないのが実に良かった。翌日夕方の神輿を神社に帰す神事も機会があればみておきたいものと感じさせられた。

参加者 4名

第1808回報告 立山三山 (浄土山～雄山～別山)

実施日 8月1日(日)～8月4日(水)

係・記録 竹尾亮三

報告

8/1(曇り)

指定席が取れないので、山荘到着を早めるメリットを活かし松本泊に。ビジネスホテルに荷を置き松本城へ。大太鼓祭りの最中であった。

8/2(快晴/曇)

室堂に着くと、青空に雄山からの稜線・立山連峰が目飛び込んでくる。山麓や山肌に残る雪の白が美しい。高度に慣れる為にゆっくりと昼食をとり、登山道へ。山道沿いには、チングルマ、イワカガミ、ヨツバシオガマなどが一杯。室堂山の展望台に着くとライチョウが迎えてくれる。浄土山への分岐に戻る我々の前を4羽の子連れライチョウが進んだり、山道の砂に体を擦りつけたりしている。道を開けてもらい、分岐に急ぐ。雪渓を渡り、周りに雪が残る急登が終わると浄土山山頂。新築中の富山大学立山研究所を経て、雄山を見上げ、泊の一ノ越山荘へ下る。

8/3(曇/快晴/曇)

曇りの中、山荘を出て直ぐ急登が続く。山頂に着く頃には快晴の青空で、室堂平を含め展望は素晴らしい。雄山山頂の神社では4人だけで、神主にお祓いを受ける。劔岳、槍ヶ岳も姿を現してくれる。立山最高峰の大汝山(3015m)の山頂を経て、富士の折立の麓に着くと20mの岩山が飛び込んでくる。ガスがかかり、再び青空の中にそびえる姿を現す。登坂をやめ、真砂山に向う。稜線の山道沿いは室堂平、雪田、雪渓、イワギキョウ等が続く。真砂岳を経て別山に着くとガスが出て展望がなくなる。劔御前小屋に下る。たくさんのトウヤクリンドウが迎えてくれる。

8/4(快晴)

ご来光を仰ぎ、雲ひとつない劔岳と別れ出発。浄土山と雄山と間に槍ヶ岳が美しい。向かう奥大日岳の手前の室堂乗越までの稜線、下山のミクリガ池など室堂平全体を眺めながら下る。ハクサンイチゲ等お花畑が続く。新室堂乗越を過ぎ、3日間歩いて来たコース全体を眺め、室堂乗越に到着。劔岳の眺めが素晴らしい。新室堂乗越に戻り、称名川を渡り雪田を登り地獄谷を経て待望の、みくりが池温泉である。湯に浸かり、室堂のトロリーバスに乗り込み、信濃大町に予定より早く到着。3000mの山々でこんなに恵まれ、全員が元気で楽しめた山行に大感激、感謝です。



4羽の子連れのライチョウ

雄山





浄土山(右) と 雄山(左) の間に
槍ヶ岳と穂高連峰

イワギキョウ



山道沿いのミヤマリンドウ

雪渓沿いのヨツバシオガマ



日の出の10分後の劔岳

雄山から室堂平

正面は奥大日岳と大日岳



雄山山頂のお社

- コース 8/2 松本 7:02=信濃大町 8:09~30=室堂 11:00~12:00---展望台 13:05~30---
タイム 浄土山 14:30~45---越山荘 15:55
- 8/3 一ノ越山荘 6:50---雄山 8:00~50---大汝山 9:15~30---富士ノ折立 9:40~50---
真砂岳 10:45~11:00---別山 12:05~13:00---北峰 13:05~10--- 御劔前小舎 13:55
- 8/4 劔御前小舎 6:20---新室堂乗越 8:00---室堂乗越 8:35~45---新室堂乗越 9:20
キャンプ場分岐 9:50---みくりが池温泉 10:45~11:40---室堂 11:55~12:15=
信濃大町 15:00~26=松本=八王子

参加者 4名

第1810回報告 鳳凰三山・薬師岳～観音岳～地藏岳

実施日 8月15日(日)～8月17日(火)

係・記録 竹尾亮三

報告

8/15 曇

格安のタクシーに恵まれ登山口を出発。寄生したサルオガセが目に入ると間もなく夜叉神小屋である。ヤナギランなどが迎えてくれる。残念ながら白峰三山は雲の中。ここからは樹林帯に入って緩い登りが続く。ソバナ、ホトトギスを見つけながら杖立峠に到着。緩く下って登り返し山火事跡らしい区間に入るが、ダケカンバが育って、注意しないと山火事の面影は無い。リンドウとオトギリソウが一面に咲いている。登りが延々と続き、なかなか辛い。苺平を経て再び樹林帯が続き南御室小屋に到着。小屋の前の冷たい清水で一服。偶然、横浜支部のIさん一家6名と同宿でした。

8/16 快晴

青空に胸弾ませ出発。森林限界を過ぎ砂払岳に着くと富士山や白峰三山、仙丈ヶ岳が素晴らしい眺めである。薬師岳小屋を通過し、いよいよ鳳凰三山の核心部に入る。紅紫、ピンク、白のタカネビランジが目立ち始め、白い砂礫の斜面を登れば薬師岳山頂に立つ。北岳、間ノ岳など悠々と連なる光景は感動的。

観音岳では甲斐駒ヶ岳、オベリスクも加わる絶景が待っていた。岩稜を超え赤抜沢の頭へ。地藏岳とオベリスクが圧倒的な迫力で迫る。地藏岳直下の賽ノ河原に到着。皆の希望で予定外のオベリスクに挑戦する事に。オベリスクの岩の根元にタッチして無事帰還。砂礫の斜面を下

り鳳凰小屋に到着。小屋の周辺で色々花が迎えてくれる。初対面のシロヒゲソウは珍しい。

8/17 快晴

朝焼けの富士山を見に小屋から10分の所を往復する。快晴の下、予定通りドンドコ沢コースを下る。ヤマホタルブクロが山道沿いに続く。最初の滝は五色滝。見事な水量と大きな落差に加え虹がかかり美しい。歩きにくい急坂を慎重に下る。2番目は白糸滝である。名前よりも荒々しい印象である。鳳凰の滝は山道から離れているので予定外であったが、道標のある分岐にザックを置き、出発。途中の踏み跡の分岐では慎重に進む方向を選び、滝を見下ろす所まで無事到着。歩きにくい急坂が続き、4番目の南精進滝に到着する。この滝も豪快である。

青木鉱泉で入浴、昼食後バスにて葦崎に向う。全員が初めての鳳凰山行で無事下山、名峰の展望、お花、滝、空いていた山小屋など素晴らしい山行に感謝です。

コースタイム

8/15 甲府 8:35=taxi=夜叉神峠登山口 9:30---9:45 杖立峠 12:50---13:30 葦平

15:30---15:45 南御室小屋 16:15

8/16 南御室小屋 6:15---薬師岳小屋 8:00---薬師岳 8:15---8:475 観音岳 9:35---9:55 赤坂沢ノ頭

12:25---12:35 賽ノ河原 12:35 ---12:45 地蔵岳/オベリスク 8号目 12:55---13:00 賽ノ河原

13:10---13:15 鳳凰小屋 14:05

8/17 鳳凰小屋 6:30---五色滝 7:30---7:50 白糸滝 8:25---8:45 鳳凰の滝分岐 9:55---

鳳凰の滝 10:05---10:10 南精進滝 11:05---11:15 青木鉱泉 13:35=バス=15:00 葦崎

16:00==16:23 八王子 17:30

参加者 7名

第1811回報告

霊泉寺温泉鳳と独鈷山

実施日 8月28日(土)~8月29日(日)

係・記録 澤野正明

報告 かんかん照りの道も、不動滝を過ぎ、山道に入るところから樹林帯になり、日射しは遮られて、いくらかは涼しく感じられる。頂上まで60分の標識からつづら折の急登が始まる。酷暑に喘ぎながら頂上へ到着。風がなく暑い。宮沢口へ暫く下がると「滑落注意」の看板が数箇所見受ける地点に出る。なるほど、この地形では転倒したら大変、かって事故が多発したのであろう、皆、慎重に下る。この山は急登降の連続であった。温泉は満足でした。

コースタイム

28日 上田 10:00---10:18 塩田町 10:19=バス=10:35 中禅寺 10:40---11:10 不動滝

11:15 頂上まで60分の標識 12:30---展望台 13:55---頂上まで3分の標識

14:00---14:05 独鈷山山頂 14:40---宮沢口 14:55---16:40 登山口=送迎車=

15:05 霊泉寺温泉

29日 上田城へ

参加者 計8名

第1814回報告

柳沢峠~大菩薩嶺~石丸峠

実施日 9月4日(日) 晴れ

係・記録 和智邦久

報告 タクシーで柳沢峠まで行く。暑い日差しの中を出発。樹林帯の中は意外にも涼しい。山道は手入れが行き届いて歩きやすく岩にはコケが一面に寺尾峠まで

続く。丸川峠から急登が始まり大菩薩嶺まで喘ぎながら登る。

雷岩からあいにく富士山を見ることが出来なかった。大菩薩峠から最後の熊沢山に登り、石丸峠へ下り小屋平からタクシーで塩山駅へ。

今回のコースは柳沢峠から石丸峠までの長い行程でしたが、山は涼しく1日楽しく歩く事が出来ました。参加者に感謝です。



ウメパチソウ



キバナイカリソウ



大菩薩嶺から大菩薩峠へ



大菩薩峠から介山荘へ



石丸峠へ

コースタイム

塩山駅 8:50=タクシー=9:15 柳沢峠 9:20・・・10:33 六本木峠・・・11:40 寺尾峠 12:10
・・・丸川峠 12:41・・・14:36 大菩薩嶺 14:45・・・14:55 雷岩・・・15:35 大菩薩峠 15:48
・・・16:11 熊沢山・・・16:22 石丸峠 16:30・・・17:15 小屋平=タクシー=塩山駅

参加者 21名

第1812回報告

奥武蔵 蕨山 (1033m)

実施日 9月4日(日) 晴れ

係・記録 竹尾亮三

報告 炎天下の中、歩き始めるが直ぐ樹林帯に入る。沢を渡ると赤いセンビキが現れる。次第に急登になり、岩場が数か所待ち構えている、暑さも加わり、稜線の分岐までの急登は辛い。たどり着いた分岐の広場でゆっくりと昼食をとり、展望盤がある山頂へ5分。記念撮影をし、雑木林の緩やかな尾根山道を下り、登り返すと藤棚山である。ヤマジノホトトギスが現れ、大ヨケノ頭を経て金毘羅神社跡地に向う。途中、名栗湖の展望は木の葉が茂り4月の下見の時のようには良く見えない。湖の水も少ない。予定通りの時間にさわらびの湯に到着。暑い暑い山行でした。ご苦労様でした。

朝出発約40分後に支部員の体調不良者が出る。同伴者を付けての下山の対応などの為に30分の時間を要する。余裕のタイムを組んでいたのが予定通りの時間に下山。多くの方のご協力に厚く感謝します。このアクシデントについては、私を含めて参加者の方に考える機会にして頂きたいと思います。

今後の山行に少しでも活かします。

コースタイム

飯能駅 8:20=名郷 9:18~9:40---有間山分岐 12:31~13:15---蕨山 13:20~30

---藤棚山 14:05~14:15---大ヨケノ頭 14:48~15:00---金毘羅神社跡 16:05
---さわらびの湯バス停 16:45~16:50 (解散、入浴組、直帰組)

第 1813 回報告

蓼科山~双六池~北横岳

実施日 9月11日(土)~9月12日(日)

係 小澤勝太郎

記録 小笠原利満

報告

11日 雲 蓼科山登山口を出発し山頂まで登り一方であった。

ゆっくり一步一步、標高が高くなるにつれて、景色が良くなり花々を愛でながら、3時過ぎには登頂。蓼科山シュッテは素晴らしい音響設備から流れるクラシック音楽を聴きながら食事も美味しくゆっくり出来ました。お奨めの小屋です。

12日 雲 早朝よりガスが立ち込め景色は望めなかったが涼しかったので良しとした。下りは岩場が多く慎重に下った。楽しく無事に降りられたのもリーダーを始め皆さんの協力のお陰と思います。

又お天気の良い日に再挑戦してみたいと思いました。

コースタイム

11日 茅野=9:45 蓼科山登山口 11:10~山頂ヒュッテ 15:30

12日 山頂ヒュッテ 6:20---将軍平 7:05---大河原峠 8:35---双子山 9:15~双子池 9:53---
亀甲池 10:45---北横岳 12:50---ピラタス山頂駅 14:00==15:50 茅野駅

参加者 10名

第 1817 回報告

天狗岳・硫黄岳

実施日 9月25日(土)曇~26日(日)晴

係 春日井孝行

記録 小笠原利満

報告

9/25

茅野駅、オーレン小屋間を小屋の人が送迎してくれて大変嬉しかった。
今日はオーレン小屋から天狗岳往復。天気も良くなり、のんびり歩いて夕方小屋に帰着。
風呂に入り夕食は桜肉の鍋でとても美味しくいただいた。

9/26

小屋を6時10分出発。今日は硫黄岳から赤岳鉱泉~美濃戸口までのコースである。
風も無く360度の展望で硫黄岳頂上で景色を楽しみKさんは峰の松目に向かい、我々は赤岳
鉱泉に向かい赤岳鉱泉で合流した。リーダー始め皆様のお陰で楽しい山行ができました。

コースタイム

9/25 夏沢鉱泉 10:35---オーレン小屋 11:15~11:35---夏沢峠 12:00~12:35---根石岳 13:25
---天狗岳(西天狗) 14:40~14:55---オーレン小屋 16:50

9/26 オーレン小屋 6:10---夏沢峠 6:40~6:50---硫黄岳 8:15~8:40---赤岩の頭 9:00---
峰の松目往復 11:00---赤岳鉱泉 11:50~12:20---美濃戸口 14:15

参加者 13名

第 1818 回報告

苗場山・巻機山

実施日 10月2日(土) 晴れ～3日(日) 曇り 係：小澤勝太郎 記録：板垣恵美子

報告

10/2

前日までの雨のせいか、かなりぬかるんでいて、滑りやすい状態でした、朝が早く寝不足もあり、きつい登りでしたが、標高が高くなるにつれ紅葉が素晴らしく、頂上から下山してくる人達の「頂上は最高の絶景ですよ」の言葉に元気付けられ、登り続けました。頂上について、まさに最高の紅葉（特に草紅葉は素晴しかったです。）でした。

10/3

朝方霧雨でしょうか、とりあえず雨具をつけて登りました。周りの景色も良く見えなく、がっかりしていましたが、午後から、晴れてきまして、まさに、絵に描いたような世界が目の前に現れ、感動！感動！でした。赤、緑、黄色、オレンジ（草紅葉）等様々な色合いを楽しみました。やはり巻機山の紅葉は、最高です。今回苗場山、巻機山と2つの山の紅葉を楽しめたこと、大変幸せに思います。

コースタイム

10/2 越後湯沢 8:20===8:55 和田小屋 9:05---下の芝 10:20---10:55 中の芝 11:10---
上の芝 11:25---11:45 神楽ヶ峰 11:55---12:15 お花畑 12:45---13:35 苗場山 14:00---
15:15 神楽ヶ峰---16:25 下の芝 16:30---17:25 和田小屋 17:40===清水ヤマゴ 18:45

10/3 ヤマゴ 5:10===5:20 桜坂 5:25---六合目 7:20---8:40 八合目 8:50---9:18 避難小屋 9:50
---10:15 巻機山 10:20---10:50 牛ヶ岳 10:55---11:40 避難小屋 12:20---15:15 桜坂 15:20
===15:50 山の湯 17:00===17:10 越後湯沢 18:10

参加者 4名

第 1823 回報告

巖美溪～栗駒山～世界谷地

実施日 10月9日(土)～11日(日) 係・記録 金本勲

報告

9日 曇時々晴

須川温泉行きの途中にある巖美溪を散策した、巖美溪は川の浸食により形成された奇岩、怪岩、深淵、甌穴に滝と見事な景観でした。そして岩場のカゴにお金を入れると対岸からロープ伝いにカゴに串だんごとお茶を入れて飛んでくる空飛ぶだんごも美味しく楽しい。

10日 曇後快晴

夜中に大雨があり心配したが、出発時点では雨も止み青空がのぞいていた、出発して間もなく紅葉が見え始めてから栗駒山九合目まで紅葉は最高でした、途中の昭和湖では火口湖ですの硫黄臭が漂う幻想的なエメラルドグリーン of 湖面に燃えるような紅葉が映えて見事でした、下山の中央コースに差し掛っても紅葉が切れ間なく続いて、紅葉絵巻のようでした。

11日 曇後晴

朝ゆっくり出発、車で世界谷地に行き第一湿原を歩いたが第二湿原は震災による木道崩壊で入場不可でした。平成20年岩手・宮城内陸地震で岩手県側須川温泉行きバスの中から道路や山麓の崩壊が方々に見え、宮城県側も地震の爪痕が方々にあり、まだ復旧半ばです、私たちが泊まった新湯温泉くりこま荘から歩いて10分の所に7人の犠牲者が出て、建物が全壊した駒の湯温泉の跡地があり鎮魂の碑が建てられてあった。

コースタイム

10/9 一ノ関10:40=バス=11:01 巖美溪散策 15:00=バス=16:10 須川高原温泉

10/10 宿舎8:15---9:23 昭和湖 9:30---10:30 須川分岐 10:45---11:10 栗駒山山頂 11:3---11:35
中央コース中間点昼食 12:45---13:45 いわかがみ 14:10=車=14:25 旅館新湯温泉くりこま荘

10/11 宿舎8:45=車=9:00 世界谷地散策 11:30=車=12:00 くりこま高原駅、昼食後、
くりこま高原駅 13:5=仙台乗換=16:58 東京駅到着

参加者 8名

第1824回報告

浅草岳・守門岳

実施日 10月15日(金)~16日(土)

係・春日井孝行 記録・石井誠

報告

15日 浅草岳

浦佐駅より大雲沢ヒュッテの送迎車で浅草岳登山口ネズモチ平へ。ネズモチ平から前岳は、雨は止んでいるが朝の雨で滑りやすく慎重に歩く。このコースは、雨の日の下りに使うのは避けた方が良さそうだ。前岳から頂上へは、6月のヒメサユリの群生をイメージしながらも木道を歩き頂上へ。紅葉は残念ながら10日ぐらい早かったようだ。しかし、所々紅葉が始まっているところもあり、紅葉直前の景色も捨てたものではない。

16日 守門岳

前夜の「八海山・緑川」の効能でスッキリ目覚めるが、空はどんより。大原スキー場より布引の滝へ。途中2ヶ所ほど鎖場があり、ちょっと緊張するが、係が絶賛するだけあって素晴らしい滝だ。周りが紅葉してたら最高だろうという愚痴が思わず出る。エデシ尾根からは越後駒をはじめとする山が遠望できた。下に見える集落には陽がさしているが守門岳山頂は雲に隠れて見えず。

1200 mのところまでついに雨が降り出す。すぐに下山を決定。登って行くパーティーもあるが、我々は躊躇することなく大雲沢ヒュッテの手打ちそばを愉しみに一気に下る。来年のヒメサユリの季節にまた来よう。

コースタイム

浅草岳：ネズモチ平 10:15---前岳 12:20---12:50 浅草岳 13:05---13:15 前岳 13:30---浅草ノ鐘 15:20---ネズモチ平 16:05 守門岳

大原登山口 5:45---布引ノ滝 6:15---6:20 主稜線 7:00---1200m 地点 8:00---登山口 9:55---大雲沢ヒュッテ 11:00

参加者 5名

第 1825 回報告

奥日光散策・半月山 (1753m)

実施日 10月15日(金)~16日(土)

係・記録 竹尾亮三

報告

15日 晴一時小雨

交通渋滞もなく順調におおるり山荘に到着する。部屋で休憩後渋滞のない時の計画書に従い、路線バスで赤沼に戻る。戦場ヶ原の入口から、戦場ヶ原の自然研究路を快適に進む。草紅葉の戦場ヶ原からは男体山が姿を出している。樹林に入ると紅葉が美しい。湯ノ湖から流れる小川にはたくさんの鴨が泳いでいる。小田代橋を過ぎ、湯滝に向う山道沿いは見頃の紅葉が続く。紅葉越しの見下ろす小さい滝の風景も素晴らしい。湯滝に到着。水量は非常に多く、迫力満点である。湯ノ湖の湖畔を歩き、おおるり山荘に到着。ゆっくりと温泉に入り、夕食で乾杯。

16日 快晴

予定通り、朝一番の10分遅れのバスに乗り込む、バスは順調に走り中禅寺温泉に到着。登山口から斜度を上げながら登っていく。茶ノ木平に着くと陽を浴びた男体山と中禅寺湖が素晴らしい。我々の他は2人しかいない。紅葉が続く山道を進み、小さい展望台に到着する。日光白根山もりりしくそびえる。戦場ヶ原や竜頭滝、湯滝が望まれる大展望台を経て半月山に到着。半月峠へ下り始めると突然、谷を挟んだ山肌が紅葉の錦で有る。感動しているとガスがかってくる。厚い落葉の急坂を下り湖畔の狸窪に到着。イタリア大使館別荘の前で休憩し中禅寺温泉バス停に到着する。帰りのバスも順調に走る。

17日 曇のち晴

早朝の湯ノ湖一周に出かける。湖水に、たくさんの鴨の群れが泳いでいる。水面に映る紅葉が美しい。男体山も遠望する。浅瀬で顔を水中に突っ込みお尻を出して逆さになっている鴨がいる。何を食べているのでしょうか？ウォーキングの後のおいしい朝食を済ませ、帰りのバスに乗り込む。三本松茶屋で男体山を見ながら休憩し帰路につく。帰りも渋滞に会わず横浜に到着。計画通りに展望、紅葉、温泉、カラオケなどを激安で楽しめた3日間山行に感謝です

コースタイム

- 15日 横浜駅西口 8:10 バス＝(途中昼食、バス乗換)＝おおり山荘 13:05---13:50 湖畔前 14:10＝バス＝14:25 赤沼 14:40---小田代橋 15:40---滝湯 16:10---16:10 おおり山荘 16:50 (夕食 18:30)
- 16日 湖畔前 7:40 バス＝中禅寺湖温泉 8:05---8:15 登山口 8:20---茶ノ木平 9:30 50---8:50 中禅寺湖展望台 11:15---11:30 半月山 12:55---13:05 狸窪 14:31---イタリア大使館別荘 14:45---15:00 中禅寺湖温泉バス停 15:30＝バス＝16:11 湖畔前 16:48---おおり山荘 16:50
- 17日 6:00～7:00 湖畔一周 おおり山荘 9:45＝バス＝三本松展望所 9:55＝10:25 表参道 (昼食) 11:30＝12:45 道の駅 (バス乗換) 13:05～25＝横浜 15:45

参加者 11名

第1829回報告

文台 (1199m) ～ 尾崎山 (968m)

実施日 10月24日(日) 薄曇り一時晴

係・春日井 記録・古屋

報告

暑くもなく寒くもなく山歩きにちょうど良いお天気でした。文台山も尾崎山もトリカブトがきれいに咲いていて、1日中道連れになりました。リーダーがトリカブト畑と名づけた一帯は群生していて特に見事でした。文台山頂でハチが出現したため、少し下ったところに移動して休憩しました。腐葉土じゅうたんみたいなふかふか道、色々な落ち葉が散り敷いてかさこそ音を立てる道、木の根にすがって登る道や樹木に支えられながら下る道など、バラエティに富んだルートを満喫した1日でした。東桂駅にて解散後 15:50 の大月行きに乗車。

コースタイム

都留市駅 8:10＝バス＝細野バス停 8:40---小野分岐 9:15---文台山 10:40 昼食 12:00-12:45) ---尾崎山 13:40---14:00 東桂駅 15:20

参加者 10名

第1830回報告 街道を歩く（中山道 その16）

実施日 10月29日（金）～31日（日） 係・芹沢隆久 記録・福田徳郎

報告

10月29日（金）曇り 中津川宿～大井宿（約14キロ）

季節外れの台風14号が本州を直撃とテレビが喧しい。が、集合のJR中津川は雨の気配もない。格調高い軒が連なり、格子窓に花が活けられ、子どもが描いた歓迎の画や俳句が楽しい「中山道歴史いっぱい あふれるよ」小2の戸田彩香ちゃん作の子ども川柳だ。

駒場、上宿、千旦林、坂本と歩を進めると高速道のICが旧道に覆い被さり、道は新旧の落差が激しい。千旦林の坂本神社で昼食をとり、道ばたに残る双頭一体の石仏や高札場を眺めながら大井宿には予定より早めに着き、中山道広重美術館で館蔵の保存の美しい版画を閉館時間まで堪能した。

10月30日（土）雨のち曇り 大井宿～細久手宿（約20キロ）

心配された台風も思ったほどの降りではない。「予定通り出発」とリーダー。

完全装備で歩き出したが、西行塚から十三峠に掛かる頃には雨は小やみになった。4キロ歩くごとに一里塚がほとんど完全な姿で眼前に現れては過ぎ去る。道はアップダウンの繰り返しで辛いものの、石畳に足をおろすごとに昔と今の時間差が消えてゆく。大井から大久手を過ぎて細久手まで約15キロは江戸時代にタイムスリップした気分になる極上といえる街道だ。「外人のグループも多く、今夜も14名がご予約です」と泊まった大黒屋の主人が英文名刺を見せて笑った。宿は3間のみ、横浜開港の年に再建され、築150年という文化財宿だった。

10月31日（日）曇りときどき小雨 細久手宿～御嵩宿（約12キロ）

三日目の街道歩きは「降りみ降らずみ」といささか意地の悪い空模様だ。細久手から御嵩まで12キロをゆっくりペースで歩む。圧巻は2*。近い石畳の続く琵琶坂で途中にマリア観音を祀るキリスト教の小館があった。30年ほど前、付近の道路改装などで地中からキリシタンの遺物が多数出土した。その場所は「七御前」という名で呼ばれ拝んでいたのは地蔵や観音に託したマリアさまとキリストだったらしい。雨も、風も、意地の悪い雨雲もいつしか一行の旅の友となっている。旧街道

を往来しつつ「幻世から現世（まぼろよからうつしよ）」へといにしえの人と共に歩いた気分の三日間だった。

コース・タイム

- ◆10/29 JR中津川駅 9:50---上宿の一里塚 10:58---坂本神社 12:00(昼食)---番所跡 12:20---秋葉山常夜灯 13:57---甚平坂 14:30---大井宿 15:20---恵那プラザホテル 15:50(宿泊)
- ◆10/30 大井宿 7:30---西行塚 8:16---槇ヶ根の一里塚 8:40---紅坂の一里塚 10:03---深萱立場跡 11:13---順礼水 11:31---大久手宿：宗昌寺(昼食)1200---本陣あと、神明の大杉など 12:50---琵琶峠 13:24---弁財天の池 14:30---奥の田一里塚 15:07---細久手宿 15:31(大黒屋に宿泊)
- ◆10/31 宿発 8:30---秋葉三尊 8:57---鴨の巣一里塚 9:20---物見峠 10:21---一杯呑み清水 10:39 謡坂(マリア観音)10:55---耳神社 11:30---牛の鼻欠け坂 11:38---和泉式部廟所 12:02 御嵩宿場 12:15---宿場の江戸川で昼食 1230---中山道みたけ館 13:54---名鉄御嵩駅 14:20 犬山駅経由で名古屋駅へ。

参加者 8名

第1831回報告 日向山 (1660m)

実施日 11月3日(水・祝) 快晴

係・記録 竹尾亮三

報告

お天気に恵まれ、林道を歩き始めると紅葉越しに陽を浴びた甲斐駒ヶ岳の勇姿が続く。錦滝に到着。急登に備えストレッチを行う。鉄階段、ロープ、木の根をつかむ急坂を登る。少し雪をかぶった富士山が現われる。陽の当る紅葉も美しい。やがて白い砂浜の様な斜面が見えてくる。雁ヶ原である。急斜面の花崗岩の白砂を登り稜線に出ると、目の覚めるような光景が広がる。雪をかぶった八ヶ岳連峰が加わり、風化した花崗岩の塔がによきによき生えている。山頂近くの雑木林で昼食を取り、黄葉のカラマツ林の中、ほどよい傾斜の道を下り矢立石に戻る。予想外の魅力いっぱいの日向山を十二分に楽しんだ山行でした。

コース・タイム

韮崎駅 9:20=taxi=矢立石 10:05---10:15 錦滝 11:00---11:15 雁ヶ原 12:20---12:40 日向山 13:40---矢立石 15:00=taxi=15:25 韮崎駅 16:10/16:23 =八王子

参加者 12名

第1833回報告 筑波山 (877m)

実施日 11月6日(土) 晴

係・小澤勝太郎 記録・大川れい子

報告

筑波山神社の横階段から登り始める。樹齢700年の大杉を眺め長い階段を登り樹林帯が心

地よい。岩場の急坂を超え弁慶茶屋からは奇岩を見ながら女体山に着く。展望は良かったが人、人で溢れているので早々に退散してケーブル山頂駅で昼食。紅葉を愛でながら見晴らしのよい男体山に着く。立身岩に立ち寄り間宮林蔵の碑を見学後、階段状の岩場を下って筑波山神社に到着。神社内では有名な“ガマの油売り”が熱演中で笑の零れる一時でした。観光客の多さですれ違のに時間を要しましたが、百名山の美しい雄姿と展望良好で楽しい一日を過ごす事が出来、リーダーさん皆さんに感謝です。

コースタイム

筑波山神社 9:30---9:53 つつじが丘分岐 10:00---11:05 弁慶茶屋 11:10---11:45 女体山 11:50
12:15---ケーブル山頂駅 12:15/12:45(昼食)---男体山 13:05---13:15 立身岩 13:20---13:35 筑波
神社 14:45

参加者 11名

第1834回報告 鶴峠～奈良倉山～鶴寝山 (縦走その3)

実施日 11月7日(日) 曇/晴 係・記録 和智邦久

報告

バスで鶴沢峠まで行く。鶴峠からいきなりの急な登りがはじまる。途中から山々の紅葉が見えはじめ、息があがっている皆んなを一息させてくれる。静かな山に賑やかな一行が登っていく。奈良倉山を下ると松姫峠まで林道が続く。ここからひと登りすると鶴寝山の山頂に、前方に富士山の雄飛を見ながら昼食。途中大マティ山に登り、棚倉から小菅の湯に下る。紅葉の中を1日楽しく歩く事が出来ました。参加者に感謝です。

コース タイム

上野原駅 8:28=バス=9:20 鶴峠 9:30---10:33 六本木峠---10:47 奈良倉山 10:55
---11:30 松姫峠 11:38---12:00 鶴寝山 12:35---13:07 大マティ山---13:45
棚倉分岐---14:38 モロクボ平 14:43---15:40 小菅の湯 16:30=バス=17:50 上野原駅

参加者 20名



奈良倉山の山頂より富士山



奈良倉山山頂

第1836回報告

網代城山 (330.7m)

実施日 11月14日(日) 曇り

係・春日井孝行 記録・服部八重子

報告

色とりどりの落ち葉を踏む音と、かれんな荒野菊の花を楽しみながら歩く。

洞窟をくぐると突如、金剛ノ滝が現われる。高さが200mはあろうか。すばらしさに無言。

“こんごもくるね”と後にする。広徳寺の大銀杏の木は黄金色で、天然記念の茅の木とインドで葉に経文を書いたという多羅葉の木がありました。

コースタイム

武蔵増戸駅 9:15---10:10 弁天山 10:20---10:35 網代城山---11:40 小峰公園 (昼食)
12:20---13:10 金剛ノ滝---13:45 広徳寺 14:00---14:30 阿伎留神社---15:00 武蔵五日市駅

参加者 19名



金剛ノ滝



広徳寺のイチョウ



広徳寺の紅葉



広徳寺



第 1837 回報告

奥多摩むかしみち

実施日 11月23日(火・祝) 晴/曇

係・記録・竹尾亮三

報告

多摩駅に着く頃には陽がさし、15分も登ると青空一杯になる。ダム工事の線路、鉄橋、トンネルを所々に見ながら進むと、冬桜の花と紅葉と一緒に目に飛び込んでくる。次々に見頃な紅葉が現れ、その度に歓声があがる。石灰岩の断層がある白髭神社を経て、見事に色付いているイロハカエデの巨樹に到着。その後、しだら吊橋から惣岳溪谷を眺める。陽だまりの中で昼食を済まし、道所吊橋からも紅葉の溪谷を堪能する。コース最大の急坂を登ると輝く銀し、道所吊橋からも紅葉の溪谷を堪能する。コース最大の急坂を登ると輝く銀杏やゆずの実越しの周りの山々の景色が美しい。奥多摩湖が現れ、溪流沿いに下り奥多摩湖に到着。展望、紅葉、吊橋、歴史の跡などを楽しめた新発見の魅力あるコースでした。

コースタイム

奥多摩駅 9:35---槐木 10:05---小中沢橋 10:35~50---しだら吊橋 11:25~55 中山入口 13:15
---タキノリ沢 13:55---14:35 奥多摩湖 14:55=バス=15:10 奥多摩駅 15:26
ホリデー快速奥多摩 2号=横浜 17:27

参加者 8名



樹齢 200 年のイロハカエデの巨樹



第 1838 回報告

南 山 (544 m)

実施日 11月21日(日) 晴れ

係・記録・谷真理子

報 告

晴天の下、橋本駅に集合し、バスにゆられて鳥居原ふれあい館へ。登山口よりゆっくり山行とし、木洩れ日の山道を歩きながら世間話に花が咲く。休憩は多めにとり、日向ぼっこという言葉が思わず口に出る。権現平から眼下の宮ヶ瀬湖の展望を楽しみ、服部牧場ではソフトクリーム、ジェラードに皆、舌鼓を打っていた。陽気が良く、お客がいっぱいでお店も一儲けしたに違いない。その後、あいかわ公園、宮ヶ瀬ダムを見学し、愛川大橋から本厚木

までバス。計画通りの歩程でカメさん山行としました。

コースタイム

橋本駅＝バス約1時間＝ふれあいの館--1:00--東山（権現平）--0:40--南山
--0:15--あずま屋--0:35--服部牧場--0:30--あいかわ公園--0:15--ダム--0:30--愛川大橋
＝バス約1時間＝本厚木

第1840回報告

湯坂路（鷹巣山（834 m））

実施日 11月27日（土） 晴れ 係・春日井 孝行 記録・大川れい子

報告

畑宿より登り始める。急登を登り飛竜ノ滝に到着。名前の通り迫力のある豪快な滝でした。

鷹巣山～浅間山へと紅葉と枯れ始めたススキを愛でながら緩やかな道を進む。

大平台分岐～湯坂山城跡に今回のハイライトと思われる紅葉の巨大なツリー群がある。

日にあたって輝いている紅葉はとても素晴らしかった。リーダーさんより美味しい

「酒粕甘酒」を御馳走になり、楽しい一日に感謝です

コースタイム

畑宿 8:50～----飛竜ノ滝 9:40～9:50----湯坂路入口 10:20～10:29----鷹巣山 10:43～----浅間山
11:07/11:48(昼食)----大平台分岐 12:38～12:48----湯坂山城跡 13:30～----箱根湯本着 14:00

参加者 13名

第1841回報告

北鎌倉ウォークキング

実施日 12月4日（土） 晴れ 係・石井純一 記録・谷田部松枝

報告 前日の大雨に比べカラリと晴れ本日はウォークキング日和です、北鎌倉駅集合。

石井リーダーの下出発、富士山・円覚寺の見える鎌倉女学院坂上でコースの説明、ストレッチ後、台峰の尾根道に入り、途中オロチの桜（山桜の大木）を過ぎ山の内配水池をぐるりと回り源氏山公園へ、30分の昼食休憩後葛原岡ハイキングコースを歩き浄智寺に下る、逆コー

ス

で多くのハイカーと出会う。横須賀線を挟んで明月院から天園ハイキングコースへ、ここからは相模湾・富士山と絶景のパノラマを楽しんだ後、散在ガ池森林公園内へ、まだ紅葉の真っ盛り、谷さんお勧めの「せせらぎの子径」を散策し岩瀬・公田緑地の尾根へ、鬱蒼とした樹林の中を歩く、地元の方々にはあまり知られていない区域かもしれない。

大長寺に下り、今回のウォークキングは無事終了、参加された皆様お疲れ様でした。

コースタイム

北鎌倉駅----台峰（鎌倉中央公園を含む）----源氏山公園—葛原ガ岡ハイキングコース

----浄智寺----明月院----天園ハイキングコース----覚園寺分岐----散在ガ池森林公園
----岩瀬・公田緑地----大長寺---- J R 大船駅

参加者 22名

第1843回報告

善波峠～高取山

実施日 12月15日(水) 晴れ 係・記録 谷 真理子

報告 駅前の街路樹のナンキンハゼの白い実を眺めつつ、9時丁度にスタートし石座神社へ向かう。山道は前日の雨が嘘のように陽光が眩しく、ハイキング日和となりました。善波峠からゆっくり歩き、念仏山にて休憩し、高取山を目指し登りのみの山道を、急坂では木の根をつかみ登り詰める。

短足にはきつい坂道。足が疲れた頃頂上に到着。最近頂上周辺では伐採が始まり、雑木林がすきまだらけで見晴らしも良くなり、頬を冷たい風が「すうー」と撫でるため、ランチも早めに済ませ震えながらゴルフ場へと降りる。その後、畑の中の一角にある波多野城址を見学し、田原ふるさと公園へ向かい時間の都合上、バス利用にて秦野へ出て解散とした。

コースタイム

鶴巻温泉～石座神社--0:05--石仏・野菊コース--0:10--尾根上--0:40--善波峠
--0:35--念仏山--1:05--高取山～東京カントリークラブ～波多野城址～田原ふるさと公園
～葛葉台バス停→秦野駅(15:30) (～はウォーキングに付、タイム省略)

参加者 7名

第1844回報告

2010年忘年山行(金冠山・達摩山)

実施日 12月11日(土)～12日(日) 晴れ 係・記録 芹沢 隆久

報告

11日 戸田峠(へだとうげ)で下車し、金冠山に向かう。晴れてはいるが風が強い。

馬酔木の花蕾がまるで紅葉したように紅い。頂上からはやや雲を伴っていたが、富士山が裾野を大きく広げていた。

眼下には沼津アルプスと駿河湾内浦に淡島が可愛く浮いていた。戸田峠に戻り愈々達磨山を目指す。道は芝草もどきで歩きやすいのだが、更に風が強まり、その上直登で階段が長く続くので、5班に分けたグループも離れがち。それでも時々振り返ると圧倒的存在感で聳える「富士」の雄姿に励まされされて達磨山に到着。ここで先行してもらっていたTさん、Mさん夫妻と合流、大岩があり少々風除けにもなり、それぞれ写真を撮ったり、南アルプスの山

々を山座同定したりする。白峰三山と塩見、悪沢、赤石が見えていた。

最も晴れていれば、理論上大峰山脈の山上が岳が見えるそうだ。

後半は舗装道路が多く、山屋にとってはつまらぬコースだ。もっと自然を活かした道路建設も出来たはずなのに。大曲茶屋バス停で日帰り7名とお別れ。土肥（とい）の民宿は温泉付きで貸切。アワビ踊り焼、カニ、サザエ、金目鯛と豪勢な海の幸に舌鼓、役者揃いの皆さんの歌や踊りで厭な浮世を忘れ特に班長、会計、宴会進行の皆さんに感謝、来年55周年への英気を養った。

12日 朝食後解散 各自お好みコースに出発して行った。

コースタイム

1日目 戸田峠9:50----金冠山9:05~15----戸田峠10:30----小達磨山10:56
達磨山11:34~45----昼食12:03~30----伽藍山12:57----船原峠13:48~55
----大曲茶屋B14:37~47=土肥温泉B15:11----民宿「汐風」15:20（泊）
2日目（参考コース）汐風8:15----土肥港----八木沢----丸山城址----駿豆学園
----小下田----中村----恋人岬----恋人岬B 13:33=修善寺==三島（西伊豆歩道）

参加者 29名

第1846回報告

扇山

実施日 12月26日（日） 晴れ 係・谷 真理子 記録・大川れい子

報告

最初の山行予定日(22日)が雨で中止となり26日に再決行された。

安達野より登り始める。犬目丸あたりから霜柱も現れガサガサ踏む音が楽しい。広々とした頂上では真っ白な雪に覆われた富士山を見ながらの贅沢な昼食を頂いた。下りは君恋温泉を変更して三境から山谷に下りのんびりとした里山を通り鳥沢駅に着いた。楽しい山行にリーダーさん皆さんに感謝です。

コースタイム

四方津駅9:00----9:15 安達野バス停9:48----9:53 山の神登山口（金比羅社）9:55—萩の丸—10:35 犬目丸 10:47—11:45(昼食) 扇山 12:33—12:55 分岐—14:55 鳥沢駅着

参加者 9名

第1847回報告

鉄砲木の頭～三国山～須走

実施日 12月23日（木・祝） 晴れ 係・齋藤郁夫 記録・大島香代子

報 告

駿河小山駅からタクシー3台に分乗。三国峠を越えてパノラマ台で下車。

一面の霜柱を踏み崩しながら鉄砲木の頭へ登る。振り返れば眼下に空より蒼い山中湖、左手に7分方純白の富士山、右手に西丹沢の山々、そして湖の奥にはずらりと南アの連峰！しばし山座同定を楽しんでからスキの斜面を下り、ひと登りで三国山へ。道中葉を落とした梢の間に真っ白な富士が青空に貼りついて版画のよう。檜木山辺りからは平らで快適な林間逍遙。アザミ平が開けると富士は再び全貌を現す。右に箆坂峠への道を分けると間もなく「富士展望地」。風もなく日の降りそそぐ草地で目の前の富士を仰ぎながらなごやかな昼食。150%満ち足りた一行はのんびりと歩いたにも拘わらず予定より1時間早く下山し、御殿場で締めくくりの会食を楽しんで帰途につきました。

コースタイム

駿河小山駅 7:20 = 三国峠経由パノラマ台 7:45~7:55----鉄砲木の頭
8:20~8:35----三国峠 9:00----三国山 9:20~9:30----大洞山 10:25~10:30----アザミ平
11:00----立山 11:25----富士展望地 11:35~12:25----立山休憩所 13:10~13:30----須走
(天恵の湯駐車場) 14:00~14:25==御殿場駅

参加者 15名

第1848回報告

鉄根府川ウオーキング

実施日 1月10日(月・祝) 晴れ 係・谷 真理子 記録・祖父川清治

報 告

早川駅から歩き始めて、到着は根府川駅。海とミカン山を眺めている内に、いつもはアツトいう間に通過する東海道本線。JR時刻表で調べて見ると、区間距離は4.4キロで時間は5分。帰りにIさんの携帯記録では、行程11km・18000歩と教えて頂いた。それが休憩・食事・見学時間等を含めて所要計5時間であった。

土地の人の話では、昨夜来の大雪で温暖なこの地域では珍しい銀世界である。リーダーの事前調査のお蔭で、一夜城石垣山への直登ルートを進む。後は専ら下りコースかと思っていたら、等高線沿いの山腹へキツイ登り下りが前後連続して4回も続く。

山歩きで降雪直後の楽しみは、山の動物たちの足跡を探し確認することである。残念なことの一つも発見できない。考えて見ると全山ミカン畠の山城は、手入れの行き届いた人工林である。これでは山の動物たちの住める環境ではない、自然林が必要なのである。

途中に立ち寄った源頼朝ゆかりの佐奈田霊社、寺院であり神社でもある珍しい寺社の建造物様式

であった。寺社建物内へ上らせて頂きお話を伺う、寒いこの日は強力な火力のストーブがなにより
のご馳走であった。

コースタイム 省略

参加者 12名

第1849回報告

金剛山～峯～宝山根府川

実施日 1月15日(土) 曇り

係・記録・竹尾亮三

報告

藤野駅から下り日連大橋に入ると、これから向かう4山と歩く稜線が見える。

登山口から登って行くと金剛山への丁目石が2丁目毎に置かれている。日連大橋や山々を望みながら、急な直登を、少し汗をかきながら登りきると金剛山に到着。縦走路の最高峰「峰」の分岐を見落とさないように進む。峰からは雪をかぶった山々、視力1.2の人には陣馬山の白馬も見える。五差路の杉峠を通過し日連山に到着。風もなく昼食をゆっくりとり、記念撮影。厚い落葉の稜線を進み、最後の宝山の山名板にタッチ。ロープのある急坂を慎重に下る。

集落に出て、日連神社にお礼参りをし、年初め山行の無事に感謝する。

コースタイム

藤野駅9:30---登山口9:50~10:00---金剛山10:35~50---峰10:55~11:00---杉峠11:20
---日連山11:45~12:35---宝山12:45~50---日連集落13:25~35---藤野駅14:15~14:36

参加者 20名

第1850回報告

三浦のチャッキラコ

実施日 1月15日(土) 曇り

係・祖父川清治

記録・石井純一

報告

ユネスコ無形文化遺産のチャッキラコを参観した。4歳から12歳までの少女10数人による
素朴な踊りで、少女達の緊張した面持ちと幼女のあどけない仕草が印象的だった。

その他、城ヶ島灯台周辺、白髭神社～小網代の森を散策した。。

コースタイム

三崎港バス停10:00---海南神社にてチャッキラコ参観10:30-55=バス=
城ヶ島灯台周辺散策12:35-13:10=バス=三崎港埠頭にてチャッキラコ参観
13:40-13:55=バス=白髭神社～小網代の森散策14:40-15:35---解散15:40

参加者 10名



第1851回報告

陣馬山～高尾山

実施日 1月22日(土) 晴れ

係・小澤勝太郎 記録・宮本省治

報告

朝の冷たい空気の中、登山口を出発。歩き始めた登山道は歩き易く快調に高度を上げて行く。50分程で尾根道に合流し、しばらく歩いた後、陣馬山山頂直下の階段329段をあえぎながら登りきると、そこは360度の大パノラマ、空も澄み渡り墨絵の様な山なみの向こうに富士山がどっしりと大きい。充分展望を堪能した後白馬像の前で記念写真を撮り、高尾山への長い縦走を開始する。道は晴天続きのため乾燥し、砂けむりが激しい。そんな中道端の可憐な霜柱が心和ませる。縦走路はゆるやかなアップダウンを繰り返しながら少しずつ標高を下げて行く。大きく登り返した山頂が影信山、ここで昼食を取る。小仏峠へ下り、また登り返して城山、また下がって最後の登りが終わって高尾山に到着する。午後3時を過ぎ、空気も冷えてきたところで、でこぼこの石の道を高尾山口へと下り、本日の長い山歩きが終了した。

コースタイム

和田登山口 8:30---陣馬山 10:00/10:20---影信山 12:10/12:50---城山 13:45/14:00---高尾山
15:10/15:10---高尾山口 16:25

参加者 15名

第1853回報告

箒沢権現山 (1138m)

実施日 1月29日(土) 曇り時々晴

係・春日井孝行 記録・三浦良三

報 告

西丹沢西沢の途中に登山口がある。入口に登山道として認めない旨の表板があり、昭文社の地図にも近時、道は消されているが表示板の余白にマジックで「権現山登山口」との記入がある。両側が絶壁の痩せ尾根の道が少しある為か?全体を通ししっかりと道はあったが頂上近傍は急峻で且つ薄雪で覆われ滑り易く、下りで8名が軽アイゼン使用。頂上で丹沢湖を眼下に眺めながら昼食。遠くに丹沢諸峰、近くに西沢の河原などの冬景色を充分楽しめた。沢に下り戻った後、少し上流に遡り下棚、本棚の滝を見物。滝の7割ほどが氷結面で覆われておりその絶景に感激。

コースタイム

谷峨 7:46=(バス) =8:31 西丹沢自然教室 8:45---9:25 権現山登山口 9:45---11:20 箒沢権現山
12:25---13:43 権現山登山口 13:53---14:00 下棚 14:08---14:27 本棚 14:35---15:25 西丹沢
自然教室 15:40= (バス) =16:23 谷峨駅

参加者 10名

第1854回報告

三浦アルプス

実施日 1月30日(日) 晴れ

係・谷 眞理子 記録・及川知恵子

報 告

寒い朝、上空は青空が広がり、気持ちよく新逗子駅を出発。六代御前より急坂となり途中、富士山や海が見え、気分上々。当初の計画ルートは落石の為通行不可で、変更となり、鬼ヶ作谷を通るサバイバルコースとなりました。一面シダが生え、道を遮る多くの倒木。ジャングルに入ってしまった様。隠れた道を掻き分け探しながら、急斜面を登り道幅20cm程の所も歩き、源流に至っては、今にも折れそうな丸太の橋をドキドキで渡り何とか皆無事。上二子山で、早めの昼食。乳頭山に登り、田浦の梅林では初雪に迎えられました。1~2本咲いていた花は、雪だったのかも?コースも面白かったのですがリーダーさんのユーモアで、より楽しいものとなりました。有難う御座いました。

コースタイム

新逗子駅 9:10---六代御前 9:20---古墳(1) 9:35---宮の台橋 10:30---鬼ヶ作谷 10:35---

下二子山 11:15---上二子山 11:30---馬頭観音 12:45---りすの谷 13:00---六把峠 13:13---

乳頭山

13:40---田浦梅林 14:30(解散)

参加者 19名

第 1855 回報告 スケッチハイク (本部合同)

実施日 2月3日(木) 晴れ 係・記録 飯島和子

報告

寒さ厳しいこの季節なのに、今日は暖かくスケッチ日和だ。渋沢丘陵からの表丹沢の山並み、震生湖と釣り人、思いおもいの場所で、楽しく描くことができました。

コースタイム

秦野駅 9:10---白笹稲荷 9:40---渋沢丘陵 10:15 各自スケッチ、昼食、震生湖上駐車場 12:45
---スケッチと作品展示---渋沢駅

参加者 本部 15名 支部 10名

第 1856 回報告 大山千枚田～二ツ山～愛宕山

実施日 2月5日(土) 晴れ 係・記録 竹尾亮三

報告

大山千枚田でタクシーを降りると急斜面に階段のように連なる大小の田んぼが展望される。緩斜面をゆっくり登り鴨川自然王国に入る。事前の調査と、2.5万図にあるはずの山道が無い。少し回り道をし、二ツ山を経て基地入口ゲートに到着。陽だまりの中昼食をとり、基地門に向う。身分証明証の確認を済ませ、トイレを借りる為に建物に入ろうとしたらラップが響き渡る。歓迎のラップと思ったら正午を知らせるラップ。愛宕山へは若い隊員が前後に付く。先頭の上級士官がレーダー基地の説明をしてくる。山頂の後、球形のレーダー近くまで。千葉県最高峰登頂記念を頂き、基地を離れ林道へ戻る。下山の尾根入口が見当たらず嶺岡苑で休憩。来た道を慎重に戻り、やっと藪の入口を見つける。道標なし。方向を地図で確認し安心して尾根道を下り、タクシーの待つ山田バス停に到着。幾つかの貴重な体験を楽しみ、感じた山行でした。

コースタイム

京急久里駅バス 6:48=久里浜港フェリー 7:20=金谷港 taxi8:15=大山千枚田 8:40/8:50---
大田代分岐 9:20---鴨川自然の王国 9:30~9:40---二ツ山 10:10~10:25---基地入口ゲート
10:50~11:45---基地門 11:55~12:10---愛宕山 12:20~12:30---基地門 12:45---嶺岡苑
13:25~13:40---山田バス停 14:40~15:10taxi =岩井駅 15:25=浜金谷---金谷港 15:20=

久里浜港 16:00

参加者 支部 27 名

第 1857 回報告

入 笠 山 (1955m)

実施日 2月7日(月)~8日(火) 晴れ 係・齋藤郁夫記録 記録・板垣恵美子

報 告

2日間とも、お天気にも恵まれ、白銀の世界を、スノーシューとアイゼン履いて散策、また樹林の中を道無き道を地図を頼りに、方向だけ定めて歩く冒険もしたり楽しい雪山散策でした。入笠山の頂上は、360度の絶景、北アルプス、南アルプス、中央アルプスは勿その他、霧ヶ峰、後立山、八ヶ岳、奥秩父、富士山等、あらゆる山々が眺められ、唯唯、感動です。冬山の素晴らしさを満喫しました。

7日 富士見駅からタクシーで富士見高原スキー場のゴンドラ乗り場へ、そこでスノーシューを借りて、ゴンドラで山頂駅へ、昼食を食べて、スノーシューを履いて宿舎マナスル山荘へ向かいました。山荘は我々の貸切です。山荘でアイゼンに履き替えて、入笠山山頂に向かいました。

8日 昨日に引き続き今日も快晴、スノーシューを履いて出かけました。道無き道を散策しながら頂上へ、昨日は良く見えなかった、八ヶ岳が今日はくっきりと見え、あらゆる山々が眺められ、思わず「わあ！素晴らしい」下りは、冒険です。新雪を膝までもぐりながら歩いていると、雪国育ちの私は、幼い頃を思い出し懐かしく感激させられました。なんとも、ロマンチックな気分させられた、2日間でした。

コースタイム

7日：ゴンドラ山頂駅 12:30----13:40 マナスル山荘 14:05----14:45 入笠山山頂 15:10----15:40

マナスル山荘

8日：マナスル山荘 8:30----9:15 入笠山山頂 9:30----10:30 マナスル山荘 11:30----12:10

ゴンドラ山頂駅

参加者 支部 5 名

第 1858 回報告

鷹取山～やまなみハイキング

実施日 2月19日(土) 曇時々晴れ

係・記録 谷 真理子

報告

今回はめずらしく雨天に邪魔され、三度目の正直でやっと決行できました。

全員で15名が元気良く勢ぞろいし、二子山コースへと入る。少々底冷えのする谷間を歩き、北尾根分岐までくると即大山緑地へと入る。メンバーの中には物足りなさを感じた方もいるだろうな一と思ったが、先を急ぐ為、緑地より下り住宅地の中をひたすら鷹取山への谷戸の登山口を目指す。雨後の登山口は滑りやすく、緊張を強いられたがここだけで、尾根に上がればジヨウダンづくしの団体に变化し、すれ違う人々も巻き込まれ、しかし楽しそうにすれ違っていった。鷹取山でランチし最終のやまなみハイキングコースへ入る。以外と短時間で住宅地へ抜け、下り坂をおりきると京急六浦駅へ着く。駅前にて解散し帰路へつく。約4時間半のウォーキングでした。

コースタイム

東逗子駅 9:50----登山口 10:00----北尾根分岐 10:40----沼間大山緑地 10:45/10:50----

沼間公民館 11:15/11:25----沼間ハイキングコース 11:30/11:58----鷹取山 12:00/12:45

----やまなみハイキングコース 12:55-13:35~京急六浦駅 14:00

参加者 支部 15名

第 1859 回報告

高柄山 (733m)

実施日 2月15日(火) 晴れ

係・春日井孝行 記録 板垣恵美子

報告

今年は雪に恵まれ、思いがけなく高柄山でも雪山を体験することが出来ました。新雪をアイゼン無しで、最初の方は20cm~30cm位の雪でしたが、頂上近くになると1m近くの雪、足の短い私は次の1歩が大変、先頭の方が手でラッセルして下さり、大変歩きやすく助かりました。有難う御座いました。やはり雪道です、予定時間の2倍近くかかりましたので、高柄山の頂上は断念し、大丸で昼食にし、登りと同じコースを下山しました。予定より早めに四方津駅に到着しました。雪の大好きな私には、最高に楽しい雪山登山でした。有難う御座いました。

コースタイム

四方津駅 8:25----御座敷の松 11:25----大丸 12:10/12:55----四方津駅 15:00

参加者 支部 6名

第1860回報告

スキー・草津国際スキー場

実施日 2月17日(木)～19日(土) 晴れ

係・記録 竹尾亮三

報告

- 17日 バスが吾妻川に沿って登ると突然大きなアーチ形の道路を登る。八ツ場ダム建設にう
新しい道路である。新しい家々、長いトンネル、高架橋など初めての景色が飛び込んでく
る。スキー場ではまずは緩斜面で足慣らし滑走。その後、リフト・ゴンドラを乗り継ぎ、
最高点の展望台まで登る。白根山、横手山の展望を楽しみ、清水沢のロングコースへ。
初参加の3名の方もスイスイと滑り降りる。休憩ではソフトクリームと、ホットココアなど
冷たいものと暖かいものを選択が分かれる。夕食のバイキングは一人200円で生ビール、
お酒が飲み放題に喜ぶ。
- 18日 2名が午前中はスクールへ。3名で指導を受ける姿をコース途中で見受ける。今日は風が
強くゴンドラが運休する。それでも、皆元気に中腹までリフトに乗り、思い思いのコース
を楽しむ。レストハウスでの休憩、昼食時も話が弾む。リフトの中継地点に大きな雪ダル
マと、雪だるまのお雛様が3段並んで目を楽しませてくれる。今日はHさんの誕生日。夜は
カラオケボックスで全員でハッピーバースデーでスタート。初参加組の皆さんは芸能委員候
補である
- 19日 朝食後、温泉街の温泉まんじゅうとお茶のサービスを受け、雪の湯畑を訪れる。湯畑が
昨年と変わり、新しい姿で現れる。Oさんの案内で雪道を登り白根神社へ。無事故に御礼
参拝。雪の西ノ河原も快晴の中、魅力的である。道路状況でバスの到着が遅れ、草津で昼
食を済ませる。激安のおおるりで、全員が おおいに笑い、スキー、温泉、カラオケなど、
色々と体験、楽しめた山行でした。

コースタイム

17日 天理ビル 7:30 バス＝ホテルニュー紅葉 12:20～13:00＝スキー場 13:05～16:00＝ホテル

18日 ホテル 9:30＝スキー場 9:35～16:30＝ホテル

19日 ホテル9:30---湯畑---白根神社---西ノ河原---ホテル13:30=横浜18:10

参加者 支部10名

第1873回報告 (第56回本部集中) 昭和の森・太陽の広場

実施日 4月10日(日) 曇りのち晴れ晴れ

係・記録 芹沢隆久

報告

水神神社、雷電神社、秀久寺と街中をウォーキング。一本松から小中川沿いの道を進むと小中池に付く。ここで大休止、桜(ソメイヨシノ)が公園と池畔を飾り、今が見頃であった。小中池から一登りで昭和の森だった。展望台からは九十九里浜が見えるという。あの浜にも津波が押し寄せたのかと思う。ここから太陽の広場に続く公園は羨ましいほどの広さ。ここも桜は満開。グループや家族連れで賑やかだ。

年に一度の新ハイの祭典は、東日本大震災で被災した1万数千を越える犠牲者を悼み、1分間の黙祷から始まった。参加者から義援金を募り被災地の復興の一助とした。横浜支部は支部の1番バッターで紹介されることになり、賛否両論ある中でこの本部集中を実施した千葉支部と新ハイ本部の鮫島会長の労をねぎらい、今年が支部創立55周年にあたることを発表し、最後に支部参加者全員で「頑張ろう ニッポン、頑張ろう 新ハイ」とエールを送った。本部集中参加者は約300名だった。

コースタイム

大網駅9:30---水神神社9:35---10:00 東栄寺10:05---一本松10:22---11:00

小中池11:30---12:00 太陽の広場15:00---15:30 土気駅(解

散)

参加者 13名

第 1862 回報告

戸塚ウォーキング

実施日 2月25日(金) 快晴 係・記録 谷 真理子

報 告

当日は集合時間を1時間ずらし10時半藤沢駅改札口に集合する。聖母の園までバスを利用しウイトリッヒの森へ入る。静かな森を散策し先を急ぐ。

境川沿いに入れば地元のN氏が飯田牧場や歴史のある石碑を案内して下さった。

しばしルートをはずれ思わぬウォーキングができ、道端の「からしな」が結構生えていて、畑から種が風に吹かれて飛んだらしい。思わぬ収穫にニンマリする主婦達！

その後は俣野園へと向かい、園主は留守で会えずじまいでしたが、春の訪れを告げる花々の何ときれいなこと！ 昼食場所としてハウスを予約していたが横浜支部貸切でした。その後は東俣野中央公園に立ち寄り、立石より善行駅へ向かうが教育センターのグリーンハウスに約70年の重みを感じつつ歩き、善行駅には15:30分丁度、予定通りに着き解散とした。

楽しいウォーキングにご協力いただいたN氏に感謝致します。

コースタイム

藤沢駅(バス20分)→聖母の園～ウイトリッヒの森～俣野園～東俣野中央公園～立石～県立体育センター～善行駅(ウォーキングに付、コースタイムは省略)

第 1863 回報告

玄 岳 (799.2 m)

実施日 3月4日(金) 快晴 係・記録 谷 真理子

報 告

ここ数日続いた雨の曇空から快晴となった当日、真冬並みの寒さも何のその、

9名が集い登山口に立つ。人と出会わない静かな山道を、にぎやかな笑い声に鳥達がびっくりして飛び去ってゆく。休憩時間を多めにとり、頂上前の展望地で熱海市街地を見下ろす。しばし仙人、仙女の気分を味わう。更に急斜面を登りつめ頂上は360°の大展望で「素晴らしい眺め」の一言。葛城山や箱根の山々、中伊豆方面の山並み伊豆大島など見える。お待ちかねの富士山は生憎の雲の中、美しい裾だけが見えたが同行のM氏嘆くことしきり。昼食後は「氷が池」へと大先輩のIさんの先導で、雪の残っている急坂を無事に下れてほっとする。

「氷が池」はかつて江戸時代には切り氷が採れ、大名や江戸城へと運ばれた所で今も秘境を保っている。その後、丹那断層へ行き地質学のお勉強となる。畑の中をオラッチェ牧場へ向かい、函南駅に午後3時丁度に到着し解散となりました。

コースタイム

熱海駅＝タクシー＝登山口 9:30・・・才樋の洞 10:22・・・玄岳頂上 11:20～12:00・・・
氷が池 12:35～12:50・・・丹那断層 13:50・・・酪農王国オラッチェ 14:20～14:45
＝タクシー＝JR 函南駅 15:00

参加者 9名